

旭市の**休日部活動** 地域移行（展開）について

旭市教育委員会 令和7年11月



1 部活動の地域移行（展開）とは

これまでの学校の部活動が担ってきた教育的意義や役割を継承し、地域の文化・スポーツ団体が行う活動に移行していくことで、子どもたちが多様な活動を体験できる機会と、少子化の中でも将来にわたり、活動を継続して取り組むことができる環境の整備を進めるものです。

※旭市はモデル事業として令和6年9月からソフトテニス（AMOC）、令和7年9月から陸上競技（AJAC）を開始しています。



2 なぜ部活動を地域移行（展開）するの？

○少子化に伴い、部活動
が成り立たない



○チームとしての練習ができない
○チームや団体として大会やコン
クールに参加できない

○生徒や保護者の要望



○学校にやりたい部活動がない
○もっと専門的な指導を受けたい

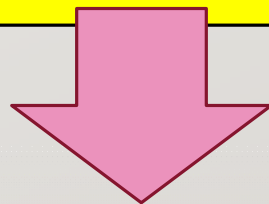
○教職員の負担



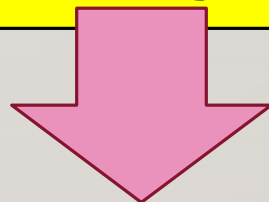
○未経験の種目を指導する負担
○平日、休日に部活動を指導する
負担



多くの課題がある中で
持続可能な部活動の運営が困難な時代に



子どもたちが自己実現を図ることができるような
持続可能な活動の環境や場を提供する体制を目指す



旭市における地域クラブ活動を開始
学校・家庭・地域全体で子どもに関わり、子どもを育てる



3 部活動と地域クラブ活動の違い

	これまでの部活動	地域クラブ活動
【指導者】	学校の先生、部活動指導員	地域の指導者 ※兼業を希望する教職員を含む
【活動場所】	主に在籍する中学校	旭市内の学校、公共の施設
【所属構成】	同じ学校の生徒	同じ学校の生徒、近隣校の生徒
【保険】	スポーツ振興センター	スポーツ安全保険
【費用】	登録費、個人で使用する備品等	登録費、個人で使用する備品等 参加費用
【緊急時の対応】	学校、顧問	相談窓口、地域クラブの指導者



地域クラブ活動の効果・課題

効 果	<ul style="list-style-type: none">・好きな活動に参加できる・専門的な指導が受けられる・様々な人と交流ができる・教職員の負担軽減につながる
課 題	<ul style="list-style-type: none">・費用や移動の負担がかかる・指導者の確保が難しいことがある・学校との連携・調整が必要になる



4 あさひ地域クラブ（ACC）について

あさひ地域クラブ(Asahi Community Club)

部活動の地域移行(展開) に伴い、生徒の活動の場として市が準備している地域クラブで、学校部活動が担ってきたスポーツ・文化芸術活動に親しむ・上達できる機会を確保していく。

運営団体：旭市教育委員会

事務局：旭市教育委員会生涯学習課

直営クラブ

事務局が直接運営する地域クラブ

- ・ 陸上競技・軟式野球・ソフトテニス
- ・ バレーボール・バスケットボール
- ・ 体操競技・卓球・柔道・剣道・サッカー
- ・ ソフトボール・バドミントン・吹奏楽

認定クラブ

事務局から認定された既存または新規に立ち上げた地域クラブ

- ・ 種目の限定なし



従来の部活動と休日の地域クラブ活動の比較（令和8年9月～）

	平日・部活動					休日・地域クラブ活動	
	月	火	水	木	金	土	日
運営	学校					地域クラブ	
活動日	4日間の実施					どちらか1日3時間程度	
指導者	顧問、部活動指導員					地域の指導者、兼業を希望する教職員	
活動場所	主に在籍する中学校					旭市内の学校、社会教育施設	
所属構成	同じ学校の生徒					同じ学校・近隣校の生徒	
保険	スポーツ振興センター					スポーツ安全保険	
費用	登録費・個人の備品等					登録費・個人の備品、参加費等	
緊急対応	学校、顧問					相談窓口、地域クラブ指導者	



市内中学校部活動の1・2年部員数及び受け入れクラブ必要数(案)※R7.9.2現在

		旭一中	旭二中	海上中	飯岡中	干潟中	合計	受け入れ団体必要数（案）						
		R7	R7	R7	R7	R7		練習場所（学校を基本とします）						
中学校1・2年生 生徒数		106	464	171	112	99	952	旭一中	旭二中	海上中	飯岡中	干潟中		
運動系	陸上競技	29	47	28	35	20	159		一中&二中		海上中&飯岡中	干潟中		
	野球	7	15	2	1	0	25				全校			
	ソフトテニス	男	/	25	/	4	/	27				二中&飯岡中		
		女	/	16	/	15	/	25						
	バレーボール	男	4	23	12	/	/	39			一中&二中&海上中			
		女	14	19	8	5	15	61	一中&二中&干潟中			海上中&飯岡中		
	バスケットボール	男	/	20	21	/	/	41		二中&海上中				
		女	/	29	10	/	15	54			二中&海上中&干潟中			
	体操	/	17	/	/	/	17		二中					
	卓球	12	33	17	21	/	83	一中&二中			海上中&飯岡中			
	柔道	/	7	/	/	/	7		二中					
	剣道	/	14	11	/	/	4	29		全校		（全校）		
	サッカー	/	25	/	/	8	9	42		二中&飯岡中&干潟中				
	ソフトボール（女子のみ）	/	12	17	/	/	/	29			二中&海上中			
バドミントン	/	16	/	/	/	/	16		二中					
文化系	吹奏楽	12	32	18	15	/	77		一中&二中		海上中&飯岡中			
	美術	/	34	13	/	/	47	吹奏楽部以外の部活動は、基本的に休日活動はしていない。 よって、地域クラブ活動の立ち上げは必要ないと考えている。						
	総合学芸	/	/	/	/	23	23							
	ボランティア	/	12	/	/	/	12							
	パソコン	/	31	/	/	/	31							
部活動数：51							運動	654	2	7	3	5	1	18
							文化	190		1		1		2
							合計	844					地域クラブ数	20

R7部活動加入率 88.6%

部活動数51 → 地域クラブ数20



5 部活動地域移行（展開）のスケジュール

令和8年9月から休日部活動の地域移行（展開）を実施する
ただし、受け皿等条件が整わない場合には、部活動継続も可とする

時期	地域クラブに移行 （展開）する部活動数	学校部活動 （休日）	学校部活動 （平日）	大会への参加
令和6年 9月～	市内1部活 （ソフトテニス）	継続 （地域クラブ以外）	継続 （週4日以内）	学校単位
令和7年 9月～	全中学校1部活以上 （ソフトテニス・陸上競技）	継続 （地域クラブ以外）	継続 （週4日以内）	学校単位
令和8年 9月～（予定）	全中学校部活 （20程度のクラブ）	継続 （地域クラブ以外）	継続 （週4日以内）	原則学校単位
令和9年度 以降（予定）	実態に応じて	実態に応じて	実態に応じて	実態に応じて



6 地域クラブQ & A

連絡ツールは？

学校で使用している連絡ツールとは異なる民間業者のツールを使用する予定です。

費用の集金方法は？

民間業者に委託し、現金の取り扱いは行わない予定です。

活動場所までの移動は？

自転車や保護者による送迎を想定しています。

生徒の参加は？

あさひ地域クラブへの参加は任意です。また、部活動とは違う種目を選ぶことも可能です。

文化部の地域クラブは？

現在、休日の活動がある文化部は吹奏楽部のみのため、吹奏楽部の地域クラブの準備を進めています。

地域クラブの整備ができない場合は？

指導者が確保できない、生徒の希望が少ないクラブ等、クラブの運営が困難な場合は、その種目については部活動として活動します。



7 モデル事業 (AMOC、A-JAC)

